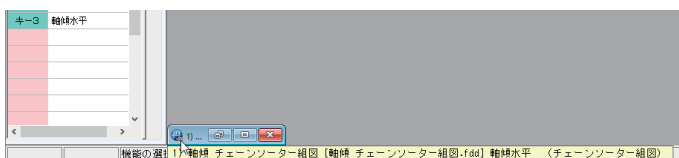


CADPAC CIVIL Ver.20 新機能

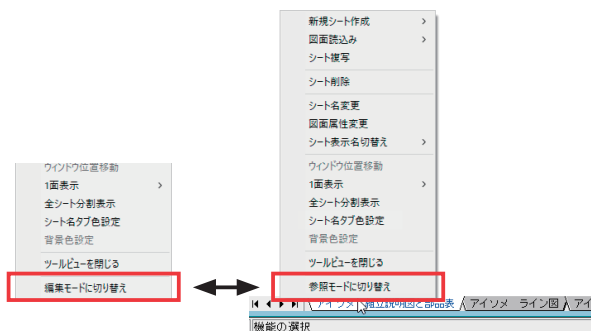
CADPAC-CIVIL Ver.20 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.19 からの差分です)

1. 図面タイトルバー 最小化した状態のウインドウにマウスカーソルを合わせると、タイトルバーの情報がツールチップで表示されるようになりました。
[基本操作 1/ 図面タイトルバー]



2. エクスプローラ拡張 サムネイルとプレビューに表示される画像のサイズを拡大し、高解像度モニタに対応しました。
[基本操作 1/ エクスプローラ拡張]

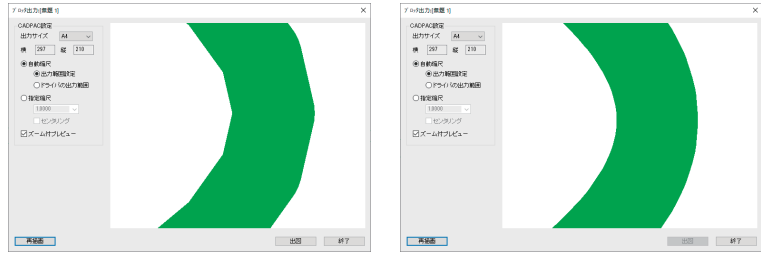
3. バインダー
ポップアップメニュー 図面ファイルの「編集モード⇔参照モード」の切り替えを、シートタブをマウス右クリックで表示されるポップアップメニューからできるようになりました。
[基本操作 1/ バインダーについて]



4. 新規 (名変) 保存
上書更新 ネットワーク上にあるファイルをネットワークドライブへ直接保存するのではなく、一度ローカルに保存後、ネットワークドライブに移動する機能に変更しました。
[ファイル / 上書保存]
[ファイル / 新規 (名変) 保存]

5. 出図
プレビュー

プレビュー画面の楕円・楕円弧の表示精度が向上しました。
従来と比べ、より滑らかに曲線を表示します。
[ファイル / 出図]



従来

Ver.20

6. DXF・DWG 入出力
弧長寸法

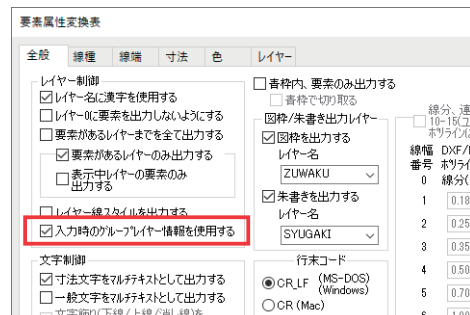
入力時、AutoCAD の弧長寸法で、弧長シンボルが [寸法値の前に配置] にセットされたタイプを、CADPAC の寸法値の前に小円弧が配置された弧長寸法として変換されるようになりました。
また出力時には、CADPAC の寸法値の前に小円弧が配置された弧長寸法を、AutoCAD の弧長寸法で、弧長シンボルが [寸法値の前に配置] にセットされたタイプとして変換されるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

7. DXF・DWG 入出力
注釈型

入力時、AutoCAD の平行寸法の注釈型表記を CADPAC の注釈型（引出型）として変換されるようになりました。
また出力時には、CADPAC の平行寸法の注釈型（引出型）が AutoCAD の注釈型表記として変換されるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

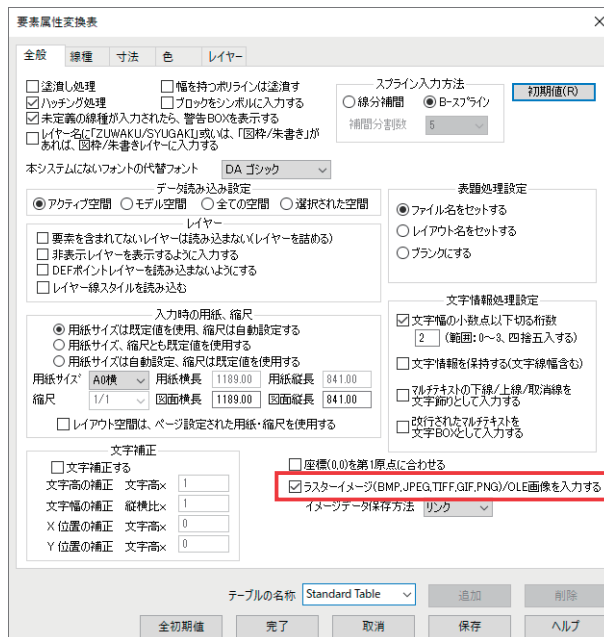
8. DXF・DWG 入出力
ブロック画層

入力時、ブロックのレイヤー No. をグループのプロパティとして自動で登録するようになりました。
それにより、出力時に、グループのプロパティからレイヤー No. を取得してブロック画層に反映できるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



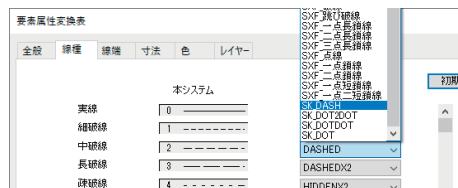
9. DXF・DWG 入力 OLE オブジェクト

OLE オブジェクトを貼付データとして入力できるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



10. DXF・DWG 出力 線種定義ファイル

AutoCAD の線種定義ファイルを直接読み込むことにより、ユーザー定義線種の対応、及び、標準対応している線種の線種情報（ピッチ等）を個別に変えられるようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

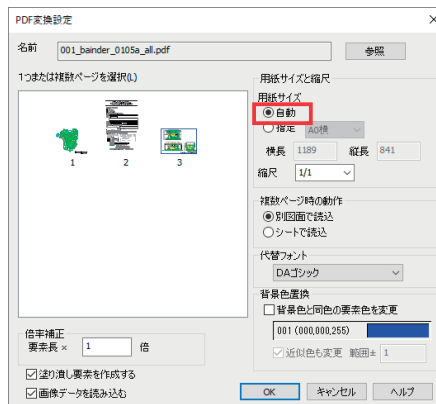


※対応する線種は、ドット、スペース、ダッシュのパターンから構成されたシンプルな線種となります。文字、シェイプ図形を使用した特殊な線種は対応しておりません。

11. PDF 入力

複数ページの PDF を読み込むとき、用紙サイズを各ページ毎に取得できるようにしました。

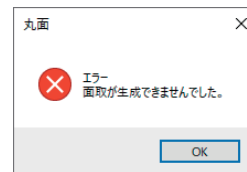
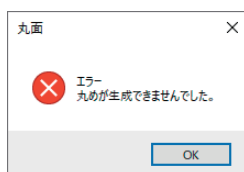
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]



12. 丸面 エラーメッセージ

指定条件により丸め・面取が生成できないとき、エラーメッセージが表示されるようになりました。

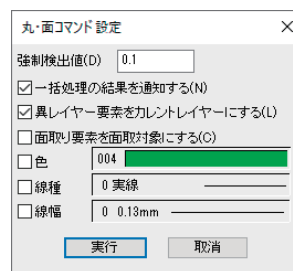
[作図 / 角処理 / 丸面]



13. 丸面 線スタイル

丸め・面取要素に対して、線スタイルを指定できるようになりました。

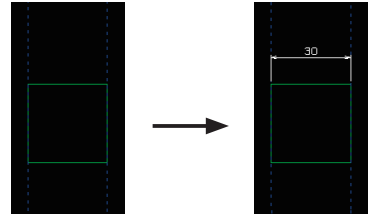
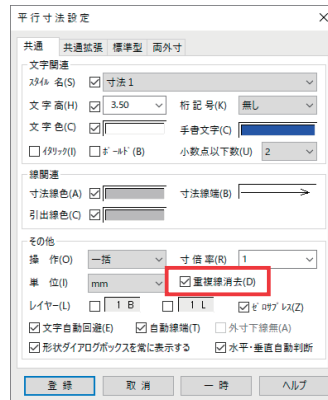
[作図 / 角処理 / 丸面]



14. 平行寸法

「重複線消去」設定が有効のとき、補助線と引出線が重なる場合は消去の対象外となるようになりました。

[作図 / 寸法 / 平行寸法]

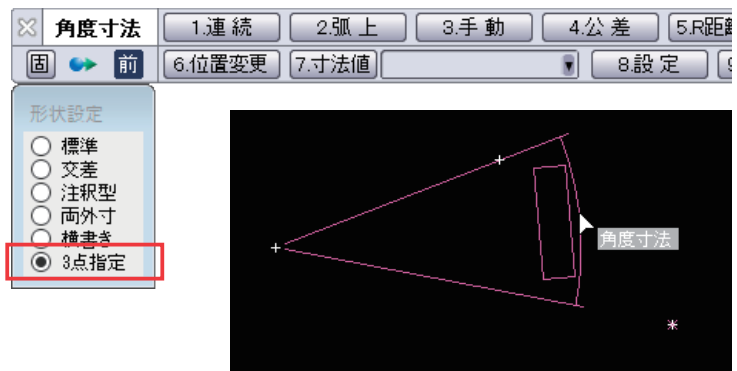


15. 角度寸法

形状設定に「3点指定」を追加しました。

3点の指定で角度寸法を作図できます。

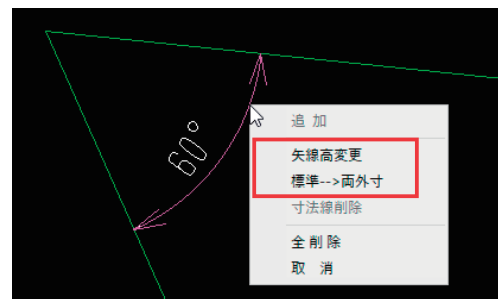
[作図 / 寸法 / 角度寸法]



16. 寸法変更

角度寸法の矢線選択時のポップアップメニューから矢線高変更および両外寸への変更ができるようになりました。(但し両外寸変更は寸法形状が標準または交差の場合に限ります。)

[作図 / 寸法 / 寸法変更]



17. 複写、移動

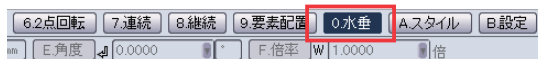
複写もしくは移動先の方向を、水平または垂直に固定できる「水垂」ボタンを追加しました。

従来は「X 増」または「Y 増」の値を 0 に指定する必要がありましたが、本機能により、ボタン一つで切り替える事ができるようになりました。

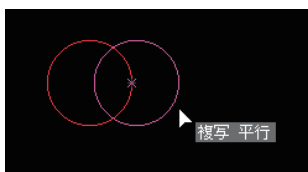
[編集 / 複写 / 複写]

[編集 / 移動 / 移動]

複写



移動



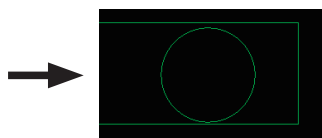
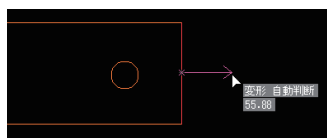
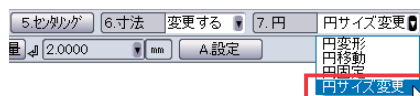
マウスマウスの移動方向によって、ラバーバンドが水平・垂直方向に表示されます。

18. 変形

[7. 円] に「円サイズ変更」を追加しました。

変形の移動量にあわせて円もしくは円弧の径を変更します。

[編集 / 変更 / 変形]

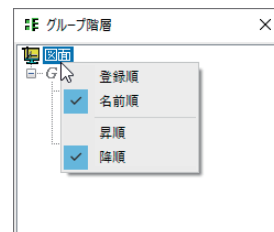


19. グループ操作

階層ツリーの表示順を変更できるようになりました。

指定できる条件は、「登録順 / 名前順」および「昇順 / 降順」です。

[構成 / グループ / グループ操作]

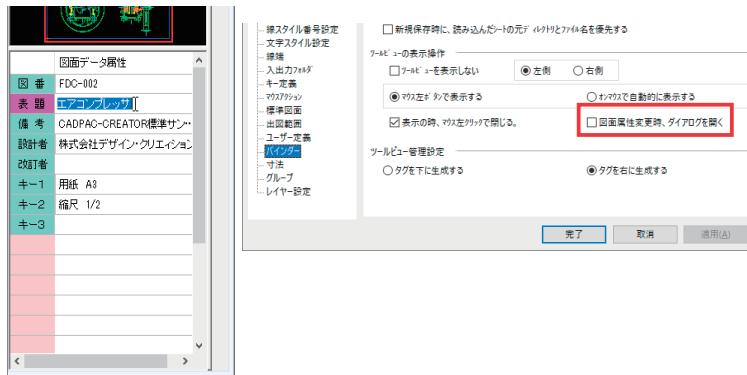


20. ツールビュー 図面属性

ツールビューから直接図面属性を編集できるようになりました。

[表示 / ツールビュー]

[補助 / システム設定 / バインダー]

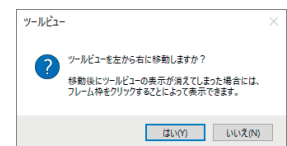


21. ツールビュー 位置変更

ツールビューの位置を変更するとき、確認ダイアログボックスが表示されるようになりました。

[表示 / ツールビュー]

[補助 / システム設定 / バインダー]



22. レイヤー操作 (アイコンツールバー)

レイヤー操作設定ダイアログボックスからレイヤー名称を編集するとき、[F2] キーで文字入力に移行できるようになりました。

[編集 / レイヤー操作 / レイヤー操作 (アイコンツールバー)]

